

自由研究
におすすめ

サイエンスの
プロ研究者の視点を体験！
“セカイのミカタ
カルタ”
をつくろう

<内容>

- ・君の足もとの
小さな生き物
- ・生き物“の名前”
採集プロジェクト
- ・食べることで
環境問題

※詳しくは裏面へ

<対象者>

板橋区内在住・在学の
小学4・5・6年生

※すべての日程に
参加できること

夏休みにたのしく大学生体験♪

いたばし未来子ども大学

<日時>

- (1) 7月27日 (土)
- (2) 7月31日 (水)
- (3) 8月3日 (土)

※すべて9:00～13:00
※3日制

<場所>

- (1) 大東文化大学
(高島平1-9-1)
- (2) 東京家政大学
(加賀1-18-1)
- (3) 区立教育科学館
(常盤台4-14-1)

<参加費>

3,000円
(保険料込)

※就学援助を受給し
ている場合は無料

<定員>

30人

※定員を超えた
場合は抽選

■申込方法

板橋区ホームページ(右下二次元コード)の電子申請
フォームからお申し込みください。

※電話、FAXでは申込みできません。

■申込締切日

7月5日(金)

■結果通知

応募人数が定員を上回った場合、抽選となります。

お申し込みいただいた方には結果に関わらず、7月8
日(月)に、メールにて結果の通知をいたします。

■申込の際は入力漏れ・間違いのないよう十分ご注意
ください。申込に不備がある場合、応募が無効になる
ことがあります。

注意事項

(1) 本事業中において、写真や動画を撮影することがございま
す。受講にあたっては、これらの写真や動画を子ども大学および
事業協力団体の広報活動に利用することにご了承いただきます。

(2) 通学中の安全確保のため、保護者の方に会場までの送迎を
お願いいたします。事業中は、ご希望により控室でお待ちいた
だくことが可能です。なお、1日目のオリエンテーション及び3日
目については、保護者の方の参観も可能です。

(3) 参加費は初回に集金いたします。参加費集金後の返還はで
きませんので、ご了承ください。また、就学援助を受給している
場合は、就学援助受給認定通知書の写しを初回にお持ちください。

お申し込みは
区ホームページから

いたばし 子ども大学 検索



問い合わせ
板橋区
教育委員会事務局
生涯学習課
社会教育推進係
電話:3579-2633

「いたばし未来子ども大学」とは？

「いたばし未来子ども大学」とは、子どもたちの学習意欲の向上や将来の夢を育むきっかけを提供するため、大学の教員や専門家などによる講義や体験活動を行う講座です。

区内大学などの協力を得て実施するため、子どもたちは実際の大学校舎を見て回ったり、さまざまな分野の講義を受講することができます。

令和6年度 いたばし未来子ども大学 カリキュラム

令和6年度の「いたばし未来子ども大学」は、子どもたちに環境問題を身近に感じてもらうための講座となります。

子どもたちには、現役の大学生も交えたいくつかのチームに分かれて、インスタントカメラを使い、各講義内で見つけた「フシギポイント」を撮影してもらいます。最終日には、それまでに撮影した写真をもとに「セカイのミカタカルタ」を制作することで、楽しみながら周り協力して自ら考える力が身につきます。

① 7月27日（土）大東文化大学

9時00分～10時00分 **オリエンテーション**

10時00分～10時30分 **キャンパスツアー（大東文化大学）**

10時30分～13時00分

「君の足もとの小さな生き物」

講師：スポーツ・健康科学部 健康科学科 橋本みのり先生

内容：自然の中には、私たちが気づかないような小さな生き物がたくさん生きています。その生き物たちは、体は小さいけれど、とても大切な役目を持っています。この講義では、私たちの足もとに生きている小さな生き物を探して、観察して、その働きについて学びます。



ほしもと
橋本みのり先生

大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科教授。土壌動物学・土壌生態学等を専門とし、日本土壌動物学会等に所属。「線路を覆い尽くすキシヤヤステの大発生」や「生態系、何を学ぶ？なぜ学ぶ？」等のテーマで複数講師経験あり。

② 7月31日（水）東京家政大学

9時00分～9時30分 **キャンパスツアー（東京家政大学）**

9時30分～11時15分

ヒトは生き物に名前をつける。

「生き物”の名前”採集プロジェクト」

講師：家政学部 環境共生学科 片田真一先生

内容：身の回りの生き物の名前を、みなさんはどのくらい言えますか？この講義では、東京家政大学の板橋キャンパスで出会う植物や昆虫に触って、その名前を調べます。

11時15分～13時00分

「食べることで環境問題 - 分けることの役わり -」

講師：栄養学部 栄養学科 鍋谷浩志先生

内容：「分ければ資源、混ぜればゴミ。」物はほおっておけば混ざるだけで、自然に分かれることはありません。この講義では、大学の食品加工実習室で、豆腐作りの見学や様々な実例から、食品加工における「分けること」の役わりを学び、環境問題を考えます。缶詰作りに使う「巻締機（まきしめき）」等も見学します。



かただしんいち
片田真一先生

東京家政大学家政学部環境共生学科講師。環境教育、動物生態学等を専門とし、日本応用動物昆虫学会に所属。西表島野外実習報告として「亜熱帯生物圏に於ける生物多様性の観察と環境問題」を学術雑誌に掲載経験あり。



なべたひろし
鍋谷浩志先生

東京家政大学栄養学部栄養学科教授。農業工学、食品化学等を専門とする。農林水産省食品総合研究所への所属経験もあり、書籍「食品総合事典（朝倉書店）」にて「バイオディーゼル燃料」等の執筆も担当。

③ 8月3日（土）板橋区立教育科学館

9時00分～12時30分（発表会は11時30分から）

「セカイのミカタカルタWORLD GP2024@教育科学館」

講師：板橋区立教育科学館 館長 清水輝大先生

内容：ここまでの活動で撮影してきた「フシギポイント」をもとに、各チームオリジナルの「ミカタカルタ」を制作して遊びます。でも、発見したことをただカードで説明するだけではおもしろくない。これで遊ぶプレイヤー達がもっとおもしろがることのできるためには、どんなふうに作ったらいだろう？

12時30分～13時00分 **いたばし未来子ども大学 修了式**



しみずてるひろ
清水輝大先生

板橋区立教育科学館館長。学習科学、探求学習等を専門とする。公立ミュージアム等で創造的なSTEAM教育コンテンツなどを開発。様々な自治体とともに、主体性や意欲を引き出すファシリテーションや学習環境について研究している。